

(白築議員)

Q 「一戸一灯運動」の推進状況は。

A 町広報や防犯まちづくり協議会委員による普及活動を行っている。  
(広田生活環境課長)



防犯灯は各自治会で管理されています

A 「一戸一灯運動」の推進については、これまで町広報やホームページ、また防犯まちづくり協議会委員の口コミ作戦により、協力を呼びかけている。10月号の町広報でも、「一戸一灯運動」の推進についての記事を掲載する予定である。

Q 街灯について、まだ周辺の方から坊主山周辺の道が暗いと聞く。前回の質問では、「一戸一灯運動の推進を図る」とのことだったが、その後の対応はどうか。

(渡議員)

Q 中央保育所の定員削減について問う。

A 保護者の入所希望に沿うよう努めていく。

(内田福祉課長)



A 入所定員は地域の児童数や新設保育園の開園、また施設の規模等の検討により決定した。しかし、今年度は既存施設への継続児童とその兄弟姉妹の入所希望が多く、中央保育所にて基準を上回る申込みが生じたため、余裕のある保育所で受け入れる等の調整を行った。平成20年度の入所決定に当たっては、保護者の入所希望に沿った保育サービスの運用ができるよう努めていく。

Q 今年度、中央保育所の保育児数が定員に達し、多くの保護者から大変困っているという話を聞く。行政の定員削減の理由は分かるが、地域や家庭の事情も異なり、一律にいかないのが実情である。住民の立場から考えると、ニーズに合わないのではないかと思うが、その辺を考慮できないか。

(白築議員)

Q 後期高齢者医療制度に町独自の減免制度を。

A 法律に減免規定があることから、現時点では考えていない。

(平本住民課長)



後期高齢者医療制度って？

現行の老人保健制度に変わるもので、75歳以上の高齢者等は平成20年4月から国民健康保険や被用者保険からこの制度に加入することとなる。

A 町内でこの制度の対象となる人数は、平成19年8月31日現在で約2千人である。独自の減免制度については、「高齢者の医療の確保に関する法律」において、世帯の所得水準に応じ保険料が軽減される制度があることから、広域連合議会への要望事項も含め、現時点では考えていない。

Q 来年4月に発足する後期高齢者医療制度について、町内で対象となる人数は何人か。また、町独自で減免制度を作る考え及び、町として広域連合議会への要望事項はあるのか。